

＜クラウド実験教室第1回：福井市清水東公民館、「顕微鏡で観察会」：令和7年11月19日（水）、  
15：00～16：30 に実施＞

昨年の福井県ワクワクチャレンジ事業「地域で作る小さな科学館」で提供した顕微鏡（簡易ルーペ顕微鏡、手作り顕微鏡、市販の実体顕微鏡）を使って、福井市清水東公民館の放課後子供会で顕微鏡観察会が行われました。指導には当NPOの会員や子供会のスタッフが当たって頂きました。参加児童人数は40名でした。たくさんのおともたちが気軽に参加してくれるように、クイズ形式で、顕微鏡を見た像から試料の名前当てをしました。観察試料は、ミカンの果実、タマゴの殻、コケ、イチヨウの葉、ガマの穂、ドングリの傘（かさ）、麻ひも、食塩などでした。

子どもたちの中には、とても興味を持ってくれた子が何人かいたので、今後の課題として、1人1台の顕微鏡を与えて、時間をかけた観察会をやりたいとのスタッフのご意見を頂きました。

第



ワクワク事業で提供した、簡易ルーペ顕微鏡（5台）、手作り顕微鏡（2台）、市販の実体顕微鏡（1台）が机の上に並んでいます



各顕微鏡には番号が付けてあり、顕微鏡で見た像から、試料の名前をあてます



手作り顕微鏡と、市販の実体顕微鏡をのぞく児童



手作り顕微鏡をのぞく児童と、  
解答用紙に書き込む児童



簡易ルーペ顕微鏡をのぞく児童